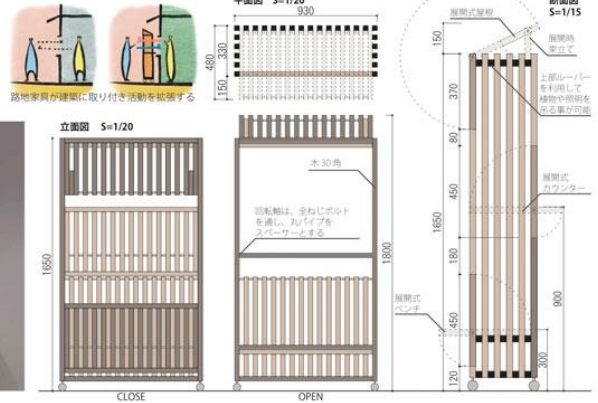


【最優秀賞】「Extension Furniture—路地のための増築家具」（井上 湖奈美さん）



Extension Furniture - 路地のための増築家具

増築するように建築に付属させる事で、住人と路地を訪れる人々を繋ぎ、新たな交流を促進するような路地の家具を提案する。かつての共同戸のように路地と暮らしを繋げて現代のコミュニティを生み出すきっかけをつくる。



(実物写真)



【優秀賞】「DANDANYARAI (だんだん矢来)」(青木 遥さん)

DANDANYARAI
(だんだん矢来)

一高さが変わる・色が変わる・機能が変わる・街が変わるー

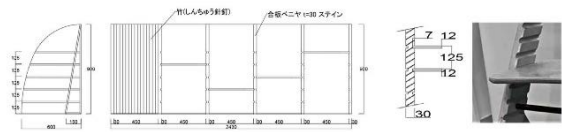
路地はモザイク模様

朝、決まった時間に帰って出ていく女子高生。
水筒のおばあさんと立ち話をするクリーニング屋さん。
新聞や牛乳は、もう配達済みだ。
昨日、大騒ぎしていた外国の旅人はまだ出てこない。
そろそろ、隣のぼくちゃんが、三輪車を持ち出して来るかな？

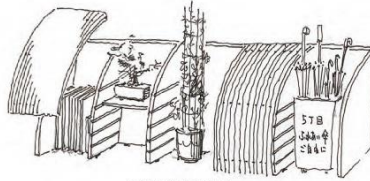
路地の一日は、人生絵巻。
来る人あり、通り過ぎる人あり、話し込んでいつまでもいる人あり。
「まあ、そう急がずに、一休みしていけば...」
思い思い、自分に合った顔かけ板を、はめ込んで座っていると
子供供達が寄ってくるかもね。

だんだん矢来の機能

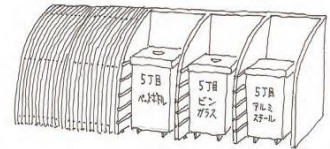
- ・左サイドの矢来の中に、座板やゴミ箱等を収納しておく。
- ・天気の良い日は、カラフルな座板を設置して、路地のおもてなしをする。
- ・時には、ディスプレイ棚として、盆栽や植木鉢を置く。
- ・急な雨の日には、「おもてなし傘」を出して路地サービス
- ・ゴミ収集の時などは、ゴミ置き場に早変わり



友達に来て欲しい時は
「カラフルな welcome 座板」



雨が降りそうな時
又は
自分の趣味を自慢したい時

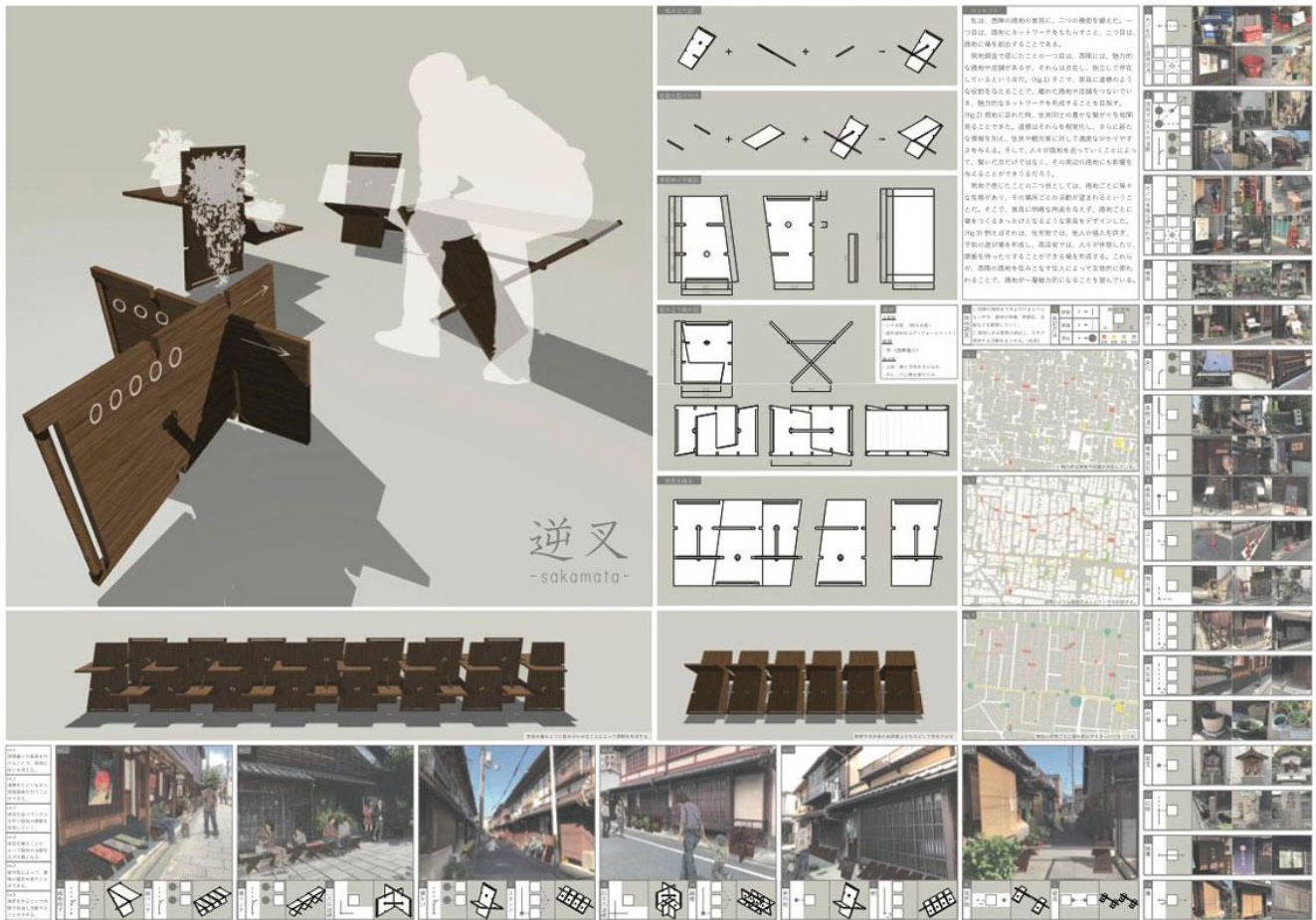


分別収集の時

(実物写真)



【優秀賞】「逆叉—sakamata—」（上田 春彦さん）



(実物写真)



【優秀賞】「路地の置縁」（久保井 聡さん）

西陣 路地の家具 デザインコンペ

路地の置縁



三上家路地



浄福寺通り

交流のきっかけの場としての“路地の置縁”

路地とは、一般的に幅員が3m以下であることから、車が入り難く安全であり、ヒューマンスケールを維持した魅力ある空間です。
西陣エリアにおいては、例えば三上家路地に代表されるように、かつては職人が、昨今においては多様なクリエーターが作り込み、造り出し交流の場所になっています。我々は、そんな路地の狭く密な交流が生まれる空間の特性を、自由に移動できる大きな縁側「置縁」によってさらに強化し、魅力ある空間に昇華させることを目指します。

■4分割された「置縁」の配置による展開づくり



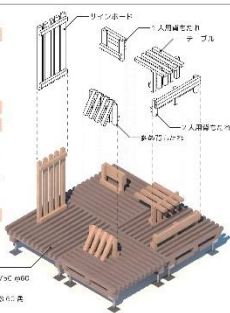
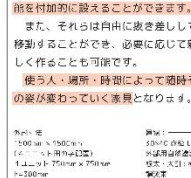
多様な場所に展開し、フィットする家具

幅員の狭い路地だけでなく、例えば軒下の広い浄福寺通りや、広場などの広い場所においても、4分割された「置縁」の配置を変え、さまざまな場所にフィットします。



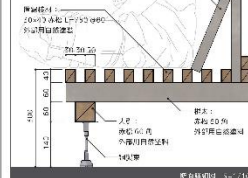
カスタマイズ可能な家具

本家具は、上部のカスタマイズ可能な部分と、下部のベースとなる置縁から成ります。上部のカスタマイズ可能な部分は、例えば、酒もたせや、テーブル、サインボードなどその場に応じて必要な機能を付加的に設えることができます。また、それらは自由に抜き差しして移動することも可能です。必要な時に必要な機能が追加されていく楽しみとなります。



シンプルな部材構成

流通材の赤松 30×40、赤松 60 角の部材から成るシンプルな構成とすることで、コスト及びメンテナンス、更新の容易さに配慮した設計としています。



(実物写真)

